

大会宣言

今、我が国の経済はリーマンショック以後の長引く不況の真っ只中にあります。また、私たち建設業界も曾てないほどの激動の荒波にもまれています。事業仕分けなど公共事業見直しによる公共工事の減少、消費低迷などによる民間工事の減少と、先行きの見通しが立たない状況が続いています。私たち「ものづくり」に携わるものに対する評価も世間的には大変低くなってきています。

そうした状況の中、清水建設に於かれましては、ものづくり・技術の研鑽・安全の確保 又、大事なものを守り、より質の高いものに変えていく若い人を育て、新しいものにチャレンジ！！更に身近な所でワンランク上の仕事を目指し、『私も今日からグレードアップ』をモットーに私たち兼喜会との一体化をさらに進め、長年にわたり培われてきた良い協力関係をより強固なものにしていくことを年度の方針に定められ、この厳しい状況に対応しようとしておられます。

私たちはそれに応えるためにも、ものづくり・ひとづくりの心を大切に、今こそ兼喜会の底力と結束力を見せるときではないでしょうか。

『明るい未来の姿を信じれば、それが本当の現実になる』と云うマーフィーの法則がありますが、私たち兼喜会は清水建設と一体となって、ものづくり・ひとづくり力の強化を図り、明るい未来へ向けて全力を尽くすことを宣言します。

平成22年5月14日

清水建設全国連合兼喜会第51回定時総会(近畿大会)

